



新学期がスタートして1週間が終わりました。月曜日からのスタートということで、生活リズムや体力面で心配していましたが、どの学年も順調にスタートすることができました。今週からは通常日課になりますが、引き続き御家庭での御支援よろしくお願いいたします。

行ってきます。修学旅行！

6年生が、木曜日から一泊二日（11日、12日）の「修学旅行」に出発します（熊本県阿蘇方面）。修学旅行は、日常では体験しにくいことを通して、社会性や他を尊重する心を身に付ける機会でもあります。また、今回は、自然の様子や人の生き方も学ぶことができる内容となっています。次の3点を努力事項としています。

①「プラスの言葉をたくさん使う」

返事も、感謝の言葉もプラスです。励ましたり心配してあげたりする言葉もプラスです。マイナスの言葉は禁止です。

②「しっかりと心を動かす」

じっくりと話を聞き、しっかりと見る。
感動できる活動にします。

③「誰もが少しずつ我慢をする」

気の知れた家族旅行とは違う。一緒に活動・生活している人のことを考える。
短い時間ですが、一回りも二回りも成長してくれることを願っています。



10月の主な行事（予定）



日	曜	学校行事（予定）
1	水	前期通知表配付
2	木	5年生 親子レク
3	金	3年生 校外学習 給食訪問指導（2年）
6	月	委員会活動
7	火	長崎くんち（～9日） 給食終了後下校（13:00ごろ）
8	水	小体会出場選手を励ます会 4年生 校外学習（福祉）
9	木	5年生 トヨタオンライン研修 緊急時引渡し・引取り訓練 に係る事前調査
10	金	2年生 親子レク
13	月	スポーツの日

日	曜	学校行事（予定）
15	水	全校一斉 弁当の日 6年生 小体会
16	木	緊急時引渡し・引取り訓練
20	月	代表委員会
21	火	児童集会（放送委員会）
23	木	下校パトロール
27	月	クラブ活動
28	火	全校集会
29	水	令和8年度入学児童対象 就学時健康診断 1・2年生 13:00下校
30	木	3年生 親子レク

11月

7	金	授業参観・懇談会 学校保健委員会 講演会
---	---	-------------------------

来月の予定は、現段階で上の表のとおりです。

①7日「長崎くんち」について

長崎の伝統芸能「くんち」の前日（まえび）です。近隣の学校と同じ対応をとり、給食終了後下校します。なお、前日が雨天により延期になった場合は、8日が給食終了後下校となります。

②「お弁当の日」について

15日（水）は全校一斉です。お間違えのないようにお願いします。

③学校保健委員会講演会について

再来月（11月）のことですが、7日（金）に、昨年御好評いただいた杉野伸二氏を招き、今年度も「目標達成のための生活習慣」という講演をしていただきます。子供にも大人にも重要な内容です。とても分かりやすく、必ず役に立つ中身です。

「思い」を形に

「行為の意味」 宮澤 章二
あなたの心はどんな形ですかと
人に聞かれても答えようがない
自分にも 他人にも心は見えない
けれどほんとうに見えないのであろうか

確かに心はだれにも見えないけれど
心づかいは見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の思いは見えないけれど
思いやりは見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為なのだから

あたたかい心が あたたかい行為になり
やさしい思いが やさしい行為になるとき
「心」も「思い」も、初めて美しく生きる
それは 人が人として生きることだ

作詞家 宮澤章二さん（1919 年－2005 年）

『心』は誰にも見えないけれど、
「心づかい」は見える。『思い』は見えないけれど、『思いやり』は誰にでも見える。その気持ちをカタチに。」



これは、東日本大震災当時、ほとんど毎日、テレビでACジャパンのCMで流れているもので、詩人で作詞家の宮澤章二さんが作った「行為の意味」という詩の抜粋です。

この言葉はとても重みのある素晴らしい言葉だと思います。

東日本大震災に限らず、昨今、各地で様々な自然災害が起きています。私自身も43年前の長崎大水害を経験しました。そんなときに、被害に遭われ、大変な悲しみを抱え、厳しい避難所生活



を強いられている多くの方々への「思い」を、私たち一人ひとりがしっかりと



胸に刻むとともに、その「思い」をしっかりと形（行動）に表していくことが大切なのということ、また、「願い」も「感謝」も・・・言葉で表現し、行為として表してこそ意味を成すということを、この詩は伝えてくれています。

そんな中、学校生活に目を向けると、学校の中で繰り返される毎日の営みの中にもたくさんの「はっ」とする瞬間があります。子供たちが純粋な心で「友達のことを一緒に喜んでいる」「人の役にたとうと行動している」「誰かを喜ばせるために行動している」「誰かを助けている」「誰かにそっと寄り添っている」などの美しい珠玉の場面です。

我々教師や保護者の大きな責務は「その時を見逃さないことだ」と思います。子供たちの純粋な心や思いが行為として表された瞬間を大いに褒め、そして「あなたの今の行為はとても尊い行為なのです。それは人が人として立派に生きていくことなのです。」と賞賛していきましょう。子供たちに目を向け、子供たちのつぶやきを聞き、理解しようと努めること、このことを職員はもちろんのこと、地域・保護者も一緒になって努力していきましょう。



これまでの私はよく「気になることがあったら学校へ」などとお願ひしてきました。しかし、本当の教育とは、本当に大事なものは「みんなで、ほめる機会を見逃さないこと」ではないのか？と最近しみじみと思います。どうか子供たちを見守り、たくさんほめてください。よろしくお願いいたします。



新しい先生が来られました

1学期までALT（Assistant Language Teacher）として指導いただいたアティラ先生の後任として、本日からリエナ（Leana Zhang リエナ ゼン）先生が着任されました。

今後は、5・6年生の外国語を週1時間と1・2年生のハローイングリッシュ（年10時間程度）を担当します。よろしくお願いいたします。